

2025 年 12 月 11 日

公益財団法人みちのく未来基金
代表理事および業務執行理事業務報告
 (報告対象期間:2024 年 10 月～2025 年 9 月)

【奨学金給付事業関連】**1. 奨学金の給付状況**

第 8 期生から第 14 期生までの奨学生に対し、奨学金の給付を実施いたしました。

① 給付人数

第14期給付対象人数および第15期生の給付申請状況は以下の通りです。

◆第 14 期給付対象者数 (単位:人)

【学校種別内訳】

	出身高校所在地				
	合計	岩手県	宮城県	福島県	3県以外
合計	190	59	100	12	19
国公立大学	24	10	9	1	4
私立大学	130	42	68	9	11
大学院	9	2	5	0	2
短大・専門学校	25	4	18	2	1
海外・その他	2	1	0	0	1

【期生別内訳】

	出身高校所在地				
	合計	岩手県	宮城県	福島県	3県以外
合計	190	59	100	12	19
8期生	1	0	1	0	0
9期生	6	2	2	0	2
10期生	8	3	5	0	0
11期生	42	19	13	4	6
12期生	41	12	21	3	5
13期生	46	13	27	2	4
14期生	46	10	31	3	2

※2025 年 9 月末現在

2025 年 9 月末現在、第 8 期生から第 14 期生まで、奨学金給付を行っている人数は上表の通りで、合計 190 名です。なお、2024 年 9 月から 2025 年 9 月末までに、自主退学等の理由により、10 名について給付を停止しました。

基金発足時から 2025 年 7 月末現在、第 1 期生から第 14 期生までの給付人数は計 1,191 名です。

	合計	岩手県	宮城県	福島県	3県以外
合計	1191	388	653	74	76
1期生	96	36	53	6	1
2期生	126	37	79	6	4
3期生	111	46	50	10	5
4期生	104	31	63	2	8
5期生	93	37	43	8	5
6期生	108	40	51	6	11
7期生	89	24	55	7	3
8期生	85	28	43	6	8
9期生	89	26	48	5	10
10期生	73	21	47	3	2
11期生	70	25	33	4	8
12期生	55	14	30	6	5
13期生	46	13	27	2	4
14期生	46	10	31	3	2

[第 15 期給付者数見込み]

第 15 期については 2026 年 3 月に 45 名が卒業予定で、第 15 期生としての進学希望者が 47 名いるため、第 15 期の給付者数は最大で 192 名となる見込みです。

② 給付予定金額

第 8 期生への年間給付予定金額	1,130 千円
第 9 期生への年間給付予定金額	1,130 千円
第 10 期生への年間給付予定金額	10,170 千円
第 11 期生への年間給付予定金額	6,780 千円
第 12 期生への年間給付予定金額	45,200 千円
第 13 期生への年間給付予定金額	44,070 千円
第 14 期生への年間給付予定金額	51,980 千円
第 15 期生への年間給付予定金額	63,920 千円
給付予定金額総計	224,380 千円

第 15 期の給付予定金額は 224,380 千円になる見込みです。この約 2.2 億円の試算をベースに年間の資金繰りを行ってまいります。

2. 第15期生の募集状況

2025年4月より、第15期生の募集を開始いたしました。

◆第15期奨学金給付希望者数

	2026年3月高校卒業予定者				既卒者	15期生 合計
	遺児・孤児数	給付希望	辞退者	給付希望率		
岩手県	15	11	4	73.3%	1	12
宮城県	34	30	4	88.2%	2	32
福島県	5	3	2	60.0%	0	3
3県外	4	1	3	25.0%	0	1
合計	58	45	13	77.6%	3	48

※上記の表は9月末時点での奨学金給付希望者で、合格後に奨学金の給付が開始されます。

基金の調査では、2026年春高校卒業予定の震災遺児は58名で、そのうち進学希望者は45名です。2025年春以前に高校を卒業して現在浪人中の進学希望者が3名いるため、第15期生としての奨学金給付希望者数は合計48名となります。

3. 第16期生以降の対象者の把握

厚生労働省が2015年9月時点の震災遺児の居住地状況を把握したデータから、全国の震災遺児の総数は1,782名（うち岩手・宮城・福島の被災3県以外は171名）となっており、基金で独自に被災3県をはじめ、全国の該当する行政窓口、教育委員会等、様々な機関へのアプローチを実施した結果、第16期生から第20期生まで合計148名について、支援予定者として把握いたしました。

4. 選考委員会の開催

「第15期生選考委員会」

内閣府の公益法人（助成型）の認可要件として、奨学生の認定について公平性・公正性の担保という観点から選考委員会の設置が求められており、これに基づき次の通り開催いたしました。

2025年8月22日（金）11:30-13:00（於：ホテルメトロポリタン仙台 桃李）

・選考委員

横田 昭彦 元岩手県立高田高等学校長

庄司 恒一 元宮城県高等学校長協会長 ・ 元宮城県仙台第二高等学校長

杉 昭重 元福島県教育委員会教育長 ・ 元福島県立安積黎明高等学校長

・事務局

齋藤雅子、今吉成和

第15期奨学金給付対象者（2026年4月からの奨学金給付開始予定者）について、東日本大震災の遺児であることの確認、および進学先についての承認を諮り、了承をいただきました。

5. 年次面談の実施

2025年7月から9月にかけて、オンラインにて奨学生全員との面談を実施いたしました。この面談は、基金スタッフが全ての奨学生の話聴ける年に一度の機会であり、学生生活の様子や困りごとなどを聴き、奨学生の心のケアにつなげることを目的に、基金のもっとも重要な活動となっています。

6. 「第 14 期生の集い」

2025 年 3 月 14 日(金)にホテルメトロポリタン仙台にて「第 14 期生の集い」を開催しました。

4 月に進学する新入生 28 名が参加してくれました。先輩みちのく生 5 名がサポートスタッフとして参加してくれ、後輩たちを温かく迎え入れてくれました。

7. 春夏の交流イベント

例年 8 月頃に 1 泊 2 日での自由参加イベントを実施しておりましたが、参加希望者の減少に鑑み、第 14 期は開催を見送りました。

【法人運営関連】

9. 寄附金受入状況

寄附金内訳(第 14 期 2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日まで累計)

■奨学金給付費用指定寄附金

	金額(円)	件数	人数・ 法人数等
個人	0	0	0
法人・団体	32,503,100	3	3
計	32,503,100	3	3

■みちのく未来基金運営費用指定寄附金

	金額(円)	件数	人数・ 法人数等
個人	1,010,000	3	3
法人・団体	2,035,467	8	8
計	3,045,467	11	11

約 25 年間の活動において必要な奨学金給付総額は約 44 億円になると見込んでおりましたが、活動終了までの収支見直しを見直したところ、学費の値上がり等の要因により、当初試算よりも多くの奨学金が必要となる見込みが生じました。修正見直しに基づき、追加で寄附金の手当てを行ってまいります。

10. 第 14 期決算報告

※別紙にてご説明いたします。

11. 広報活動

・「みちのく未来通信」の発行

寄附者や奨学生等の基金関係者に対して、みちのく未来基金の現状をお伝えする広報紙「みちのく未来通信」を、2025 年 1 月(第 38 号)、2025 年 6 月(第 39 号)に発行いたしました。第 39 号より発行を完全データ化し、2026 年 1 月に第 40 号の発行を予定しております。

・Facebook の利用

月 1～2 回の頻度で記事の更新を行い、閲覧回数を増やすようにしております。

12. その他特記事項

事務所移転

事務局体制の変化に鑑み、2025 年 5 月に事務所を移転いたしました。

13. 第 15 期事業計画および収支予算の策定

事業年度末までに内閣府に提出する第 15 期の事業計画および収支予算の策定を行います。

※事業計画および収支予算の内容については、第 1 号議案「事業計画書」・「収支予算書」および「資金調達及び設備投資の見込みについて」として、別紙①にてご説明いたします。

14. みちのく未来基金の運営スタッフ体制について

カゴメ株式会社より派遣されているスタッフ 1 名が 2025 年 9 月末で離任いたしました。

2025 年 9 月末現在のみちのく未来基金事務局のスタッフ構成及び業務担当は以下の通りです。

藤田 晋太郎（ロート製薬株式会社）：代表理事（全体責任者）

齋藤 雅子：業務執行理事（現場統括、奨学金給付業務）

直接雇用スタッフ 1 名：寄附金管理、総務経理事務、学校訪問業務

以上